

「任意合併協議会」設置へ 合併に向けた動きがスタート!!



“任意合併協議会へ参加します”

吉田・田代町長(1月27日)



大澤・比内町長(2月12日)

市議会(12月定例会)の「北鹿2市3町の市町村合併に向けた任意協議会の設立に関する決議」を受け、小畑市長は、昨年12月26日に田代町長・比内町長・小坂町長に、また翌日27日には鹿角市長に任意合併協議会への参加要請を行いました。

これまで本市は、比内町・田代町の1市2町の職員で組織する「大館圏域合併に関する共同研究会」で住民アンケートを実施するなど、市町村合併についての検討を進めてきました。

今後は、本市の要請に賛同する市町による「任意合併協議会」という形で、合併に向けたさまざま話し合いが行われる予定です。



市町村合併
抽象的な論議から

具体的な論議へ

市長リポート

No 245

現在、大館市では、周りの自治体と協力して取り組む仕事が多くなっています。従来から広域で取り組んでいる消防、ごみ処理、斎場などのほか、介護保険の認定も1市2町で行っています。さらに、県北部の各市町村とともに観光推進協議会、米代川流域地方拠点都市地域整備協議会、林業活性化協議会、大館能代空港利用促進協議会などさまざまな事業を進めています。

この背景には、買い物や通勤・通学など私たちの生活自体がすでに広域化しているという現実があります。自動車の普及が進み道路網が整備されたことで「車社会」になっており、車で20分も行けば隣町です。この意味で、従来の市町村の枠を越えて、周りの自治体と話し合い、共同で実施する事業が今後さらに多くなることが予想されます。行政としてこの現実に対応するために、市町村合併を推進していく必要があります。

また、市町村合併を考えるうえで大事なポイントは「少子高齢化」と「地方交付税削減による行財政のひっ迫」です。このまま人口減少が進み、10年先、20年先を予測した場合、いろいろな意味でこれまでの「市町村のかたち」を維持していけるのか懸念されます。

昨年末、私は近隣の鹿角市、比内町、田代町、小坂町を訪ね、市町村合併についての私の考えを伝え、具体的な話し合いのテーブルに着いていただくよう要請しました。合併特例法の期限を考慮すると、抽象的な話をしている時期はもう過ぎ、今は具体的な論議を始めるときであると考えるからです。

「市のありかた」を決めるのはもちろん住民の皆さんです。皆さんの確に判断してもらうために、任意の合併協議会での情報をしっかりと提供し、将来の財政状況や都市像などを示していきたいと思えます。

小畑 元